

新校舎新築工事の竣工式

「風と光の道」作り省エネに

【取り組む】

学校 東京都立大
高等 市立大
中学 京大
等 東大

東京都立大学等々力中学校・高等学校（海老原大樹校長、東京都世田谷区）は九月七日、新校舎新築工事竣工式を行った。同校は創立以来七十年に及ぶ女子教育を実践してきたが、今年四月、校

舎を新築し、施設環境を再整備した。

共学部は「ノブレス・グロウバルリーダーの育

成」を理想の教育像として掲げ、人格教育を基本とした徳育と学力向上を図るプログラムを展開していく方針だ。



海老原校長の挨拶
（二階教室）
神酒拝戴
斎主退下

あいさつする海老原校長

新校舎（第一校舎）は、

旧校舎の一部を再利用し、新築したもので、延床面積約六三二〇平方メートル、地上五階からなる。主に中学と高校の普通教室を中心に形成されている。それぞれの学年のためのオープンスペースを中心とし、一学年五クラスで六学年まで三十クラスの教室がある。また、二百二十人収容できる多目的ホール（つばさホール）やクラブ活動にも利用できる生徒ラウンジなどもある。

特色の一つとして導入しているのが、省エネへの取り組みだ。各階二カ所に吹き抜けを使い「風と光の道」を作り、自然通風と自然採光を取り入れるとともに、深夜電力による氷蓄熱システムを導入し冷暖房機の利用の軽減を図っている。また、断熱性を高めるため、窓ガラスは複層ガラスにし、外部には庇を設け、直射日光の抑制や窓ガラスの清掃時の足場として、外壁のメンテナンスに利用できるように配慮している。